



注目度の高いイベントの創造と県の文化度の向上

主担当部局：地域振興部



目指す姿

奈良の歴史文化の魅力や背景を分かりやすく伝えることや質の高い文化芸術イベントを実施することにより、文化力を高めるとともに、文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、活動の裾野拡大を図ります。また、文化を核にしたまちづくりによる地域活性化を進めます。



●平成28年度までに「芸術・文化」を行う県民の割合を

●文化施設が核となり、

●奈良の歴史文化の情報発信や奈良らしい文化芸術イベントを実施し、県内外からの交流を活発にすることにより、

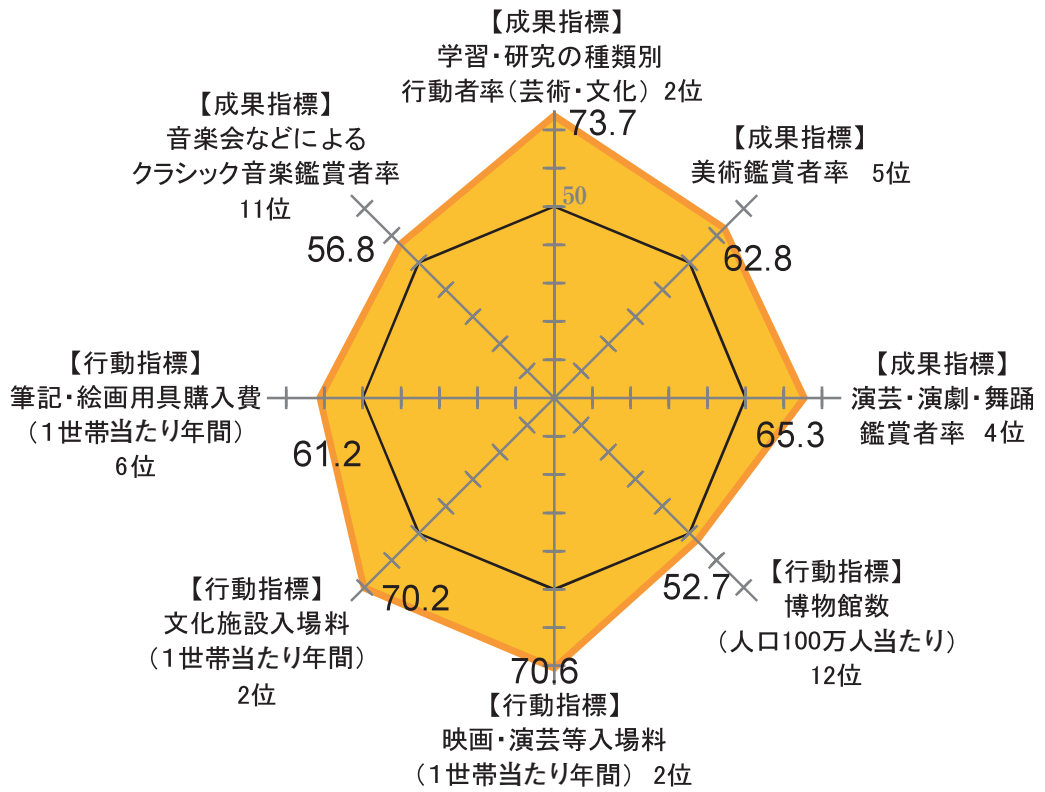
全国1位
にします。
(平成23年度：2位)

**県内各地の
地域の
にぎわい**
を創ります。

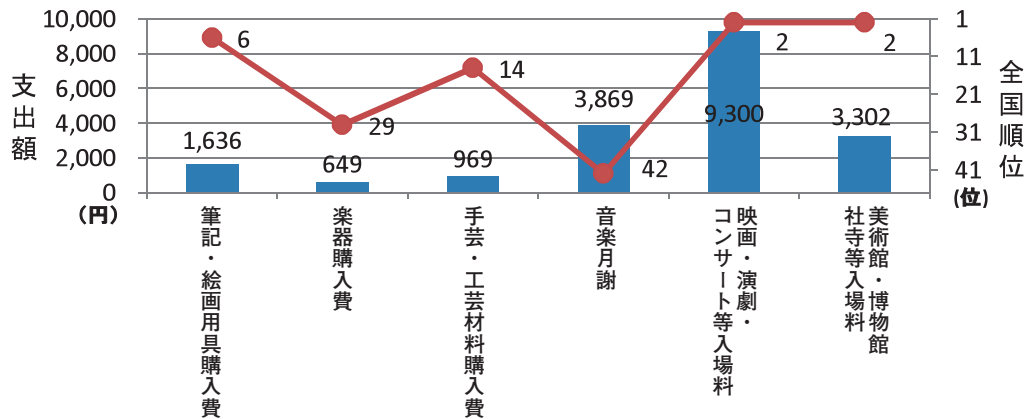
県内の
文化関連消費
を高めます。

分析

■ 主な指標



家計支出にみる文化活動の状況 (都道府県庁所在市、2人以上世帯)



平成24年度「家計調査」

- 平成24年の文化施設入場料への支出は、大幅に上昇し全国2位となりました。(H23年度：14位)
- 平成24年の映画・演芸等入場料への支出は、大幅に上昇し全国2位となりました。(H23年度：14位)
- 平成24年の筆記・絵画用具購入への支出は若干低下し、全国6位となりました。(H23年度：4位)
- 人口100万人当たりの博物館数は15館と、全国12位で上位にあります。

戦略1

奈良らしい歴史文化、質の高い文化芸術を活用して、文化力を向上します。
 主担当課：地域振興部 文化振興課

目標

- ▶ 伝統芸能など奈良が持っている質の高い文化資源を活用して、**奈良の文化力を高めます。**
- ▶ 奈良から世界で活躍するような**トップアーティストを輩出**します。
- ▶ 国内外で活躍しているアーティスト等を招聘し、**県内で上質な文化芸術催事を開催**します。
- ▶ 奈良の歴史展示を推進することにより、**奈良の歴史の魅力や文化の背景をわかりやく伝えます。**
- ▶ 県内の古文書等を調査、整理し、広く県内外に公開することにより、**奈良の歴史的価値を高めます。**
- ▶ 有識者の講演録など県が保有する**知的情報を広く県内外に発信**し、奈良のステイタスを高めます。



県立ジュニアオーケストラのコンサート

取り組み

文化施策の方向性を明らかにし文化振興ビジョンを策定

奈良だからこそできる音楽祭の開催

奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催

上質な芸術文化に触れる機会の提供

未来のトップアーティストの育成

奈良らしい歴史展示の推進

県内古文書等の調査、収集、公開等及び人材養成の実施

奈良県が保有する知的情報の発信



古文書講座の実施

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
文化施策の方向性を明らかにし文化振興ビジョンを策定				
◎「奈良県文化振興ビジョン」の策定	ビジョン骨子案の検討	ビジョンの策定	ビジョンに基づき事業を実施	
奈良だからこそできる音楽祭の開催				
◎ムジークフェストならの開催	場所・期間を拡大して開催		継続開催	
奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催				
◎（仮称）奈良県大芸術祭の開催			開催	
上質な芸術文化に触れる機会の提供				
◎県立美術館特別展の開催	数内佐斗司展等を開催	現代アート展・大古事記展の開催	魅力的な特別展を実施	
◎文化施設等（文化会館・橿原文化会館・万葉文化館等）でのコンサート、展示事業、美術展などの実施			様々なコンサートや展示事業等の自主事業を実施	
◎「やまとちから」の発信	首都圏発信		発信事業の実施	
未来のトップアーティストの育成				
◎県立ジュニアオーケストラの活動	活動機会の拡大		コンサートの継続開催	
奈良らしい歴史展示の推進				
◎歴史人物ストーリーの情報発信	検討	基本テキスト作成	藤原不比等ストーリーの展開	コンテンツ・展開ツール作成、情報発信
◎現地解説板の設置	検討	仮設	検証後本設置	展示エリアの拡大
県内古文書等の調査、収集、公開等及び人材養成の実施				
◎庁中漫録の翻刻及び古文書講座の充実化	検討	成果公開及び講座の新設	翻刻、公開の実施及び講座の実施	
奈良県が保有する知的情報の発信				
◎有識者の講演録など県が保有する知的情報を広く県内外に発信	開設準備		実施	

戦略2

文化芸術への参加、鑑賞の機会を拡大し、活動の裾野の拡大を図ります。

主担当課：地域振興部 文化振興課

目標

- ▶ 「うるおい」と「やすらぎ」のある県として県内外からの関心を高めます。
- ▶ 老若男女の様々な層の文化芸術活動の活発化により、県民の文化芸術に対する満足度を高めます。
- ▶ 文化芸術の参加と鑑賞の機会を拡大し、県民だれもが、県内各地で文化芸術に接する機会を創ります。

取り組み

文化芸術団体が行う発表の場の拡充

文化芸術団体への支援の拡充・強化



県庁星空コンサート



ムジークフェストなら 2013

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
文化芸術団体が行う発表の場の拡充				
◎（仮称）奈良県大芸術祭での発表機会提供		発表の機会を提供		
◎奈良県芸術祭での発表機会提供	発表の機会を提供			
◎ムジークフェストならでの発表機会提供	場所・期間を拡大して開催	発表の機会を提供		
◎県庁星空コンサートの開催		発表の機会を提供		
◎県美術展覧会の開催（再掲）		実施		
文化芸術団体への支援の拡充・強化				
◎新たな文化活動チャレンジ補助金	実施	対象を市町村にも拡大して実施		
◎（仮称）奈良県大芸術祭での広報支援		広報支援		
◎奈良県芸術祭での広報支援	広報支援			

戦略3

文化を核にしたまちづくりによる地域活性化を進めます。

主担当課：地域振興部 文化振興課

目標

- ▶ 県内文化施設が有機的に連携するとともに、新たなイベントにより、**地域のにぎわい拠点**とします。
- ▶ 県内の社寺等をはじめ、地域の文化観光資源を活用した新しい文化芸術活動などにより**地域の文化価値を高め**ます。
- ▶ 地域の文化芸術活動を促進し、各地域を元気にする**文化芸術活動のリーダーを育成**します。

取り組み

県内の文化施設が核となり、地域のにぎわいを創出

文化財を活用したまちづくりの支援

文化施設等の連携の強化



自分の仕事を考える3日間フォーラム
(図書情報館)



世界遺産登録推進事業



文化施設等研修会

工程表

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
県内の文化施設が核となり、地域のにぎわいを創出				
◎『万葉集』を中心とした古代文化にふれる機会を提供(万葉文化館)	一般展示室無料化	魅力的な展示会や様々な切り口による講演会の実施		
◎中南和地域の親しみやすい文化施設としての取り組み(万葉文化館)	四季を通じたイベントの実施	四季を通じてイベント開催のほか近隣市町村等と連携した取り組みの実施		
◎奈良県のくらしの変遷や歴史を理解する場を提供(民俗博物館)	古民家イベントの実施	ふるさとフェスタの開催	生活用具等を通して奈良の伝統的な生活文化を伝える展示を実施	
◎都市公園と古民家を活用した地域のにぎわいづくり(民俗博物館)	常設展の増設「昔のくらし」	公園内の古民家を活用したイベントの実施		
◎情報発信の拠点として学びの場、交流の場を提供(図書情報館)	情報の提供及び活用支援	ホームページ更新等による情報発信、活用支援の充実		
◎佐保川周辺の施設と地域によるまちづくり連携(図書情報館)	多彩なイベント等の実施	地域の人材を活かした教養講座及びコンサート・企画展等の継続開催		
文化財を活用したまちづくりの支援				
◎史跡等整備活用補助金により、文化財を活用したまちづくりに取り組む市町村を支援	市町村への補助事業の実施	ニーズの増加に合わせ補助金を増額	市町村への補助事業の実施	
◎文化財を活用した世界遺産登録への取り組み支援	専門家会合や啓発セミナーを実施	登録に向けた取り組み支援を実施		
文化施設等の連携の強化				
◎文化施設等研修会の開催		文化施設責任者を対象とした研修会の開催		
◎図書館管理運営の市町村連携(図書情報館)	新事業の検討、一部実施	既存事業の継続実施、新たな事業の検討		

これまでの成果

梅雨の古都・奈良を彩る音楽祭「**ミュージックフェストなら2013**」（平成25年6月14日～30日）を開催し、**約62,000人の来場者**を集めました。

県立万葉文化館において「**にぎわいフェスタ万葉**」を季節ごとに実施し、開催されたイベントには**約26,000人**（春～冬）の方が来場しました。

県立美術館においてKimono Beauty展（入館者：13,765人）や正倉院宝物と近代奈良の工芸展（入館者：12,188人）、簀内佐斗司展やまどちから（入館者：15,792人）を開催し、**多くの方が来場**しました。

芸術祭総合フェスティバルを11月3日に**文化会館及び県営プール跡地で開催**しました。
（2会場の来場者数：計約3,300人）

県立ジュニアオーケストラが「ミュージックフェストなら2013」、「にぎわいフェスタ万葉」、「平城京天平祭」等に**多数出演。プロのソリストとの共演**もしました。

知的情報発信のためのホームページを開設し、「**NARASIA READINGS**」を発行しました。

主な指標の動き

よくなっている指標

- ◆趣味・娯楽の種類別行動者率（美術鑑賞）
20.6%（全国6位）[H18] → 18.8%（全国5位）[H23]
・全国的に見て、美術鑑賞を行う人の割合は高い状況です。
- ◆趣味・娯楽の種類別行動者率（演芸・演劇・舞踏鑑賞）
15.7%（全国5位）[H18] → 13.4%（全国4位）[H23]
・全国的に見て、演芸・演劇・舞踏鑑賞を行う人の割合は高い状況です。

変化が見られない指標、低下している指標

- ◆学習・研究の種類別行動者率（芸術・文化）
15.0%（全国2位）[H18] → 13.0%（全国2位）[H23]
・全国順位は変わりませんが、学習・研究活動の中で芸術・文化を行う人の割合は高い状況です。
- ◆趣味・娯楽の種類別行動者率（音楽会などによるクラシック音楽鑑賞）
10.1%（全国6位）[H18] → 8.7%（全国12位）[H23]
・全国順位は低下していますが、クラシック音楽鑑賞を行う人の割合は高い状況です。